



カキ (カキノキ)



カキは、果物として(1)の部分が食用とされています。

カキは、果樹園だけでなく、畑のわきや庭などに植えられることもあります。(2)になるとあざやかな(3)の実をつけているのを見ることができます。



成長のようす

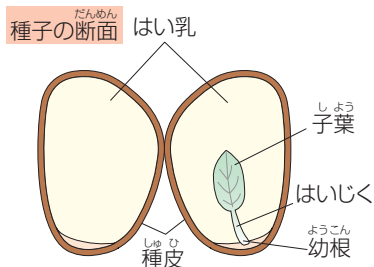


カキは(4)です。(5)の終わりごろにうすい(6)の花をさかせます。やがて実ができ、(7)になると実が熟します。(8)には葉が落ちます。(9)になると葉が出て、やがて花がさきます。

種子のつくり



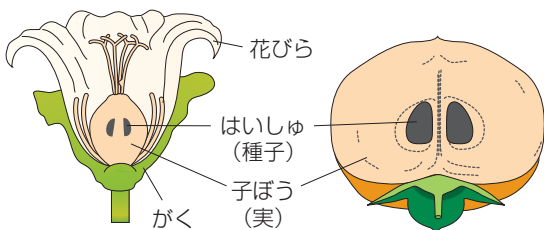
カキの種子には(10)があり、発芽のための養分として(11)がたくわえられています。



実のつくり



カキの実のふだんわたしたちが食べている場所は、(12)が成長した部分です。



+ プラスワン

カキの実には、種類によってしぶみがある場合があります。こういったカキを食べる場合は、しぶみをぬく処理をする必要があります。

ツツジ



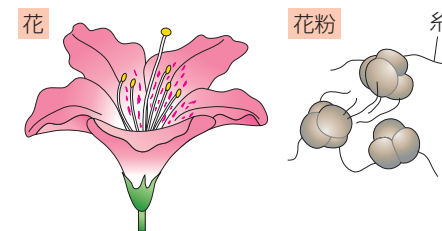
ツツジは、学校や公園などいろいろな場所に植えられている樹木です。葉が冬に落ちるものと落ちないものがあります。

(13)になると赤色やピンク色、白色のよく目立つ花をさかせているのを見ることができます。



ツツジの花は、花びらを1枚1枚分けることができない(14)で、つつじの形をしています。

ツツジの花は(15)です。昆虫からだにくっつきやすいように、花粉は糸を引いています。



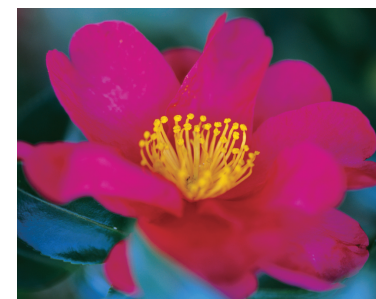
ツバキ



ツバキは、道沿いや庭などに植えられている(16)です。葉には光たくがあります。

ツバキは(17)から(18)のはじめごろに花をさかせます。花びらが1枚1枚分かれる(19)です。

ツバキの花は(20)です。



+ プラスワン

ツバキによく似た植物に、「サザンカ」があります。サザンカも常緑樹で葉に光たくがあります。また、サザンカの花も鳥ばい花です。ツバキの花は花ごと落ちるのに対してサザンカの花は花びらが1枚1枚散ります。また、サザンカの花は秋から冬にさきます。

サザンカ



ミカン



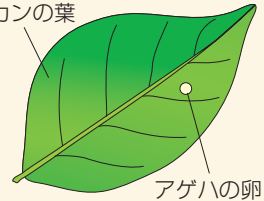
ミカンは、果物として(21)の部分^{くだもの}が食用^{ぶぶん}とされています。本州^{ほんしゅう}（関東より西）から沖縄^{おきなわ}のあた^{ばしょ}たかい場所^おでさいばいされている(22)です。実は(23)の終わりから(24)にかけて^{しゅう}収^いかくされます。



+ プラスワン

アゲハ（アゲハチョウ）の幼虫^{ようちゅう}は、ミカン科^{しよくぼつ}の植物^{しょくぶつ}の葉^はを食べます。ミカン科の植物であるミカンやカラタチ、サンショウなどの葉^はには、アゲハの卵^{たまご}がうみつつけられます。

ミカンの葉



キンモクセイ



キンモクセイは、庭^{にわ}などによく植^うえられている(25)です。(26)になると(27)の小さな花^{はな}をたくさんさせます。



+ プラスワン

キンモクセイの花^{はな}は、独特^{どくとく}のよいかおりを出します。とても強い^{ちやうど}かおりなので、遠くまでたどります。

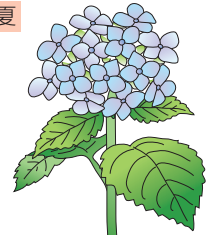
アジサイ



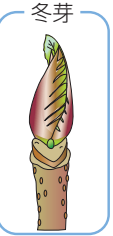
アジサイは、庭^{にわ}や公園^{こうえん}などに植^うえられている(28)です。(29)のころに花^{はな}をさかせます。

アジサイは冬^{ふゆ}には葉^はを落^おとしますが、(30)をつけています。アジサイの冬芽^{ふゆめ}は、葉^はを小さくしたものが何枚も重なっています。

夏



冬芽



+ プラスワン

アジサイの花^{はな}びらのように見える色^{いろ}のついた部分^{ぶぶん}は「がく」で、実^{じつ}際^{さい}の花^{はな}びらはそれよりずっと小さく目立ちません。

アジサイの花^{はな}はふつう、土^{つち}が酸性^{さんせい}かアルカリ性^{あるかりせい}か、などによって色^{いろ}が変化^{へんか}します。酸性^{さんせい}の土^{つち}に生^はえていれば青色^{せいしよ}が強く、アルカリ性^{あるかりせい}の土^{つち}に生^はえていれば赤色^{せきしよ}が強くなる人が多いです。



+ プラスワン

アジサイのように特^{とく}ちょう的な冬芽^{ふゆめ}をつける樹木^{じゆもく}はほかにもあります。モクレンやコブシの冬芽^{ふゆめ}は細かい毛^けの生^はえたりんぺん、ネコヤナギの冬芽^{ふゆめ}は1枚^{まい}のりんぺん、トチノキの冬芽^{ふゆめ}はねばねばした液^{えき}でおおわれています。

モクレン



コブシ



ネコヤナギ



トチノキ



サワグルミ

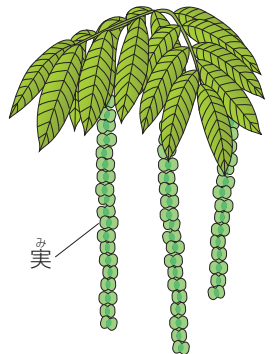


サワグルミは、北海道^{ほっかいどう}から九州^{きゅうしゅう}の山^{やま}の、しめり気^{しめりけ}の多い場所^{ばしょ}に生^はえている(31)です。なお、サワグルミは(32)です（半陰樹^{はんいんじゆ}とされることもあります）。

サワグルミの花^{はな}は、春^{はる}ごろにさきます。

+ プラスワン

サワグルミの花^{はな}は風^{ふう}ばい花^かで、春^{はる}ごろにさきます。サワグルミのように、花^{はな}びらが小さいなどあまり目立^{めだ}たないものは風^{ふう}ばい花^かであるものが多く、サクラやツバキなどのように花^{はな}が目立^{めだ}つものは虫^{ちゅう}ばい花^かや鳥^{ちよう}ばい花^かであることが多いといえます（例外^{れいげい}もあります）。



み実